



やまがた



いつかは村の顔に 太田浩輔さん(小坂)

「若さとパワーで山形村を盛り上げてます」とガッツポーズで館報に載ってから2年半。

教育委員会に在籍し、様々な行事に携わることで「村の知らなかった部分を発見したり、たくさんの人と触れ合えることが楽しい」と充実した日々を過ごしている。

「いつか“太田のところへ行けばどうにかなる”という存在になるため、いろいろなところへ出て行って、まずは自分を覚えてもらいたい」とまっすぐな視線で語る浩輔さん。

フットワークの軽さを武器に、村民のために今日も笑顔で動いている。

(H26.9.6 B & G水泳大会会場にて)

働き姿

告知板

第66回村民運動会

【開催日】10月12日(日)雨天中止
【会場】トレーニングセンターグラウンド
【時間】午前8時30分点呼終了

子どもからお年寄りまで出て楽しい!!
見て楽しい!!そんな競技がいっぱいです。

秋のウォーキング教室のお知らせ

【日程】10月24日(金) 10月31日(金)
午後7時30分~午後9時00分
【場所】山形小学校体育館
【対象】村内在住及び在勤の方
【定員】30名
【参加料】無料
【申込み】9月25日(木)~10月17日(金)
までに山形村教育委員会(98-3155)へお申し込みを。

伝承館出張展示「記念のさかずき展」

伝承館に所蔵されている明治から昭和の「記念のさかずき」を出張展示します。

【開催日】10月21日(火)~10月30日(木)
【会場】ミラ・フード館 1階ギャラリー
月曜日は休館となります。
11月1日(土)~11月2日(日)の山形村総合文化祭でも展示します。

図書館からのお願い

文化祭のリサイクル本コーナーの本を募っています。ご家庭に不用の本がありましたら、図書館までお持ちください。

地域と共に 年代を超えて 上大池夢♥ふれあい隊

それぞれの地域で住民の参加できるイベントを、という社会福祉協議会の呼びかけからスタートした上大池夢♥ふれあい隊(代表・中村哲久さん)有志によるボランティア団体として、公民館役員の枠を超えて地域の絆・福祉に継続して関わっていきけるような集まりを目指しています。子ども会育成会やPTA、サロンのメンバーも一緒にな

つて、一昨年の夏から「上大池ふれあいDAY」を開催しています。無理をせず、自分たちも楽しみながら企画段階から準備を重ね、年代を超えて地域で楽しめる参加型のイベントです。心のこもった多彩な催しに大人も子どもも笑顔があふれます。みんなの顔が見える小規模な地区、上大池だからこそ、ちようどよく楽しく活動できています。

~ 8月31日(日) 上大池ふれあいDAYより



飛行機製作

大人も真剣 スポーツ吹き矢



くつした輪っこ編み

流しそうめん うまいなあ



上越水族館で全員集合

上大池分館バスハイク

9月14日(日)、バス2台を連ねて飯山から上越へ。天候にも恵まれ、楽しい旅となりました。最後は春日山で謙信公に村民運動会の必勝祈願?で締めくくりました。

山すそ

雨ばかりの夏だった。南木曾の土砂崩れなど各地で被害が相次ぎ、このところ毎年のように言われている。とはいえ、異常気象に泣かされる夏となった山形じゃんずらも昨年引き続き雨中の花火となり、いろいろな行事が雨に祟られた。こう雨が続きと、編集部は誇る無敵の雨男の責任と笑うわけにもいかない。

そんな中でも小学生は元気いっぱい!支部子ども会の行事やラジオ体操・通学学舎で笑顔が弾けていた。しかし、その陰で夏休みを取り損ねていたのが700号にも登場したF氏である。責任感にあふれるF氏はこの701号の原稿が出揃うのを待って、遅い夏休みに入る予定でいるらしい。部長を始め編集部一同は今月F氏の為に締め切り厳守だった(はずだ) F氏に楽しい夏休みが訪れることを願いつつ、ミドリに倣って一句いや、二句

・友情を集めて嬉し夏休み
・ネタ足りず
ミドリを真似て
お茶濁す



明るく軽快なトークと体操。そしてピアノが奏でる爽やかで心地いい時間が、8月の山形村に流れました。



8月24日(日)、山形村トレーニングセンターグラウンドにて「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が開催されました。山形村開村140周年を記念して行なわれたこの行事は、予想を遥かに上回る約1700人の参加者による壮大な体操会となり、ラジオを通じて「元気な村・山形」を全国に

らびに世界各国に発信することができました。今年の夏は天候不順続きで当日の天候も心配されましたが、参加者のやる気に押しされた雨雲たちは、この日はかりは遠慮したようです。夏らしい朝日につつまれながら行われた体操会は、楽しい夏の思い出となりました。



開村140周年記念
夏期巡回ラジオ体操
みんなの体操会

疾走！ロードレース

快晴となった9月14日(日)、第8回信濃山形清水高原サイクルロードレース(全日本学生RCS第8戦兼)が開催されました。

今や初秋の風物詩となりつつあるこの大会は、県内外から56名のアスリート達が集結しておこなわれ、高低差500Mを超える過酷なヒルクライムコースを果敢に攻める見所満載のレースとなりました。



激泳！水泳大会

9月6日(土)、山形村B&G海洋センターで第28回信濃山形水泳大会が村内外から50人の参加で行われました。低学年の男女ビート板の部から始まりグループリレーまで、夏の練習の成果を存分に発揮し競いました。会場には大勢の応援の方も駆けつけ、わが子の成長に声援を送っていました。この大会で、今シーズンのB&Gプールの営業は終了しました。



爽快！村民ゴルフ

9月3日(水)、第17回山形村民ゴルフ大会が豊科カントリー倶楽部にて行われました。25歳から82歳までの計150名が集い、笑いありため息ありの楽しい一日を過ごしました。その中で中村佐重喜さん(写真)が本大会3度目の優勝を飾りました。

- 【結果】
優勝 中村佐重喜さん
準優勝 高山 英一さん
第3位 佐々木作郎さん
【ベストスコア】
男性 小林 勲さん
女性 上條登志子さん



＊弓道全国大会報告＊

8月22日～8月24日

東京都明治神宮弓道場で行われた、第11回全国中学生弓道大会・JOCジュニアオリンピック大会に女子団体競技で出場しました。

中学生の弓道競技人口は少なく、大勢の選手を見るのは

野田 音羽さん(下大池)

初めてだったので、その中で弓を引くのはとても緊張しました。予選一日目は二本の矢的に当てられましたが、二日目は当てられず、目標の決勝進出は叶いませんでした。



しかし、この貴重な経験を生かして今後の練習に取り組んでいきたいです。

災訓練

共助の「こころ」〜



東日本大震災以降も日本列島の各地で自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしています。記憶に新しいところでは、7月に南木曾町、8月には広島県で豪雨による土砂災害が発生しています。そのため、有事の際に迅速かつ円滑に対処できる防災対応能力が求められています。

防災の日に合わせ、各地区ならびに小中学校で防災訓練が行われました。その様子の様子と各地区の自主防災の取り組みの一部を紹介します。

役場（災害対策本部）

【防災訓練内容】

警戒本部の立ち上げ
全職員召集（メールにて）
地震発生 全村放送
災害対策本部に切り替え
電源復旧訓練（停電時の自家発電）
交通情報等伝達訓練（各地区の避難状況確認）



全村放送とサイレンの吹鳴

下竹田区

【防災訓練内容】

松本広域消防署員によるAEDの操作訓練
給食給水訓練
【区の取り組み】
防災拠点施設の建設
防災計画の立案、冊子配布
防災備品の充実
育成会、区、小中PTA、分館共催で救命救急講習の実施
区民への啓発活動

【今後の課題】

高齢、一人世帯への非常時の確認体制づくり
連絡班未加入世帯を含めて、共助の体制づくり



AEDの操作訓練

上竹田区

【防災訓練内容】

中部電気保安協会講師による災害時にかかわる電気事故防止についての講話
消火栓の取り扱い及び放水訓練
炊き出し試食訓練



消火栓の取り扱い訓練

下大池区

【防災訓練内容】

テント張り
AEDの操作訓練
消火栓の取り扱い及び放水訓練
非常食試食訓練
【区の取り組み】
停電時に公民館内の一部の照明等に使用する非常電源装置設置
テント、ポール台、炊き出し用大鍋などを装備



AEDの操作訓練

小坂区

【防災訓練内容】

松本広域消防署員によるAEDの操作訓練
消火栓の取り扱い及び放水訓練
【区の取り組み】
小坂区の危険地域のおぶり出しと区民への周知
過去、山形村で発生した災害時の記録ビデオを見ながら

らの勉強会の開催（災害発生時の対応への意識づけ）



テント設営

中大池区

【防災訓練内容】

初期消火訓練
（消火器 消火栓の取り扱い方）
応急救護訓練
（毛布ガウン、ペーパーバツグ作りなどの講習）
給食訓練



毛布ガウン講習

上大池区

【防災訓練内容】

初期消火訓練
ポンプ消火訓練の見学
非常食試食訓練



地震総合防

『高めよう！地域の防災力』～『

山形小学校

【防災訓練内容】

避難誘導訓練（体育館）
次の3点について、自ら考
えて行動できる力を培う。
1. 「落ちてこない」
2. 「倒れてこない」
3. 「移動してこない」

他校の防災訓練のビデオ
鑑賞
児童引渡し訓練



児童引渡し訓練

鉢盛中学校

【防災訓練内容】

避難誘導訓練（校庭）
校舎内留意点：オカシモ
「押すな、駆けるな、静かに
戻るな」
地震体験車による地震体験
訓練

煙道体験
けが人の搬送訓練
けがの応急処置訓練
消防士による放水訓練の
見学



『救命の連鎖』とは



地震体験訓練

傷病者の命を救い、社会復
帰に導くために必要となる一
連の行いを『救命の連鎖』と
いいます。『救命の連鎖』は、
心停止の予防
心停止の早期認識と通報
一次救命処置
二次救命処置
で成り立っています。
上の図参照

『AED』とは

AED（自動体外式除細動
器）は、心室細動の際に機器
が自動的に解析を行い、必要
に応じて電氣的なショック
（除細動）を与え、心臓の働
きを戻すことを試みる医療機
器です。動作が自動化されて
いるので、施術者が一般者で
も使用できるよう設計されて
います。突然心停止の発症後、
直ちに心肺蘇生と除細動電気
ショックを実施することが非
常に重要です。

災害時の電気安全知識

【災害時の電気安全知識】
地震のときに怖いのは火事
熱を出す器具（アイロン、フ
アンヒーターなど）を使っ
ているときは、ブレーカーを切
るかプラグをコンセントから
抜きましよう。

村内AED設置場所

AED設置個所
山形村役場、農業者トレーニング
センター、保健福祉センター、い
ちいの里、子育て支援センター
「すくすく」、山形保育園、ふれ
あいの館、ミラ・フード館、ふれ
あいドーム、山形小学校、スカイ
ランドきよみず、上大池コミュニ
ティセンター、中大池語りへの館
小坂公民館、下大池公民館、上竹
田公民館、下竹田公民館、いち
いの里「すばる」、コミュニティハ
ウス「建部の里」



ワンタッチテント

災害時に設置されるテント
について、組立式は時間・人
員とも多くかかっており、迅
速な対応を取らなければなら
ない場面には不向きに見えま
した。それに対して、ワンタ
ッチで開閉できるテント（写
真右）は耐久性に問題はあり
そうですが、一刻を争う場面
には適しているように思われ
たことから、非常用としては
ワンタッチテントを常備する
べきと感じました。



高原に響く
清水高原 音楽フェスティバル
 爽やかな音色



和太鼓 円

9月7日(日)、スカイランドきよみずにおいて「清水高原音楽フェスティバル2014」が開催されました。屋内運動場内の特設ステージで、村内外の5組が出演し歌や和太鼓などの演奏を披露しました。Rs(アース)&キッズ・ダンス・ボックスは、歌とダンスのコラボレーションが素晴らしく、観衆を魅了しました。また、会場内ではフリーマーケットや農産物の販売も行われ、スカイランドきよみずでも縁日コーナーや豚汁の振る舞いもあり、高原のすがすがしい空気の中、来場者は1日を満喫していました。



こどもコーラスTanpopo



Rs & キッズ・ダンス・ボックス



村 敬老会



ピアやまがた敬老祭

9月15日の敬老の日を迎え、村内でもお年寄りを祝う催しが行われました。
 9月6日(土)には、ピアやまがた敬老祭が行われ、バイオリンの演奏などが披露されました。また、9月11日(木)・12日(金)には、村の敬老会がいちいの里で行われました。山形保育園の年長児も訪れ、「ふるさと」を元気いっぱい歌い、参加者を喜ばせました。

敬老の日

いつまでも、お元気で！



8月30日(土)、鉢盛中学校の生徒とPTAによる資源物回収が行われました。各地区の家庭を巡回し、アルミ缶とビール瓶を回収しました。集められたアルミ缶とビール瓶は、役場東側駐車場で分別され引き取られました。

中学校資源物回収

9月7日(日)、小学校において本年度2回目のPTA作業が行われました。
 今回の作業は、5年生の保護者を中心に、運動会のテント設営、生垣の剪定、側溝の清掃等を行いました。作業を始める頃にはそれまで降っていた雨もやみ、屋外の作業も順調に行うことができました。グラウンドに設置されたテ

学校PTA作業

ントを見ると、運動会にむけた子どもたちの気持ちも高まり、練習にもより一層熱が入ることでしょう。



風

(敬称略)

おめでた(子・親)

前澤 心葉・英一 由美・下竹田

百瀬 ちさ・貞利 美香・上竹田

畔上 燈眞・透 麻衣・小坂

神通川夏希・竜司 亜由美・小坂

おくやみ

齊藤 實・80歳・下竹田
 百瀬 も子・90歳・上竹田
 清原 範實・85歳・上竹田



カッコいい



獲ったどー!!

山形小 5年生 海の学習

8月21日(木)・22日(金)の2日間、山形小学校5年生が海の学習に行ってきました。7月に予定されていた愛知県への学習旅行が台風8号の影響で延期となり、実施日を改めて今回の学習となりました。

1日目は三菱自動車岡崎工場の見学のと、日間賀島へ渡り海の学習をしました。

2日目は島の散歩、買い物をしたのち島を離れ、名古屋港水族館の見学に行きました。盛りだくさんの内容で子どもたちも思い出となったことでしょう。



イルカと触れ合う



漁船クルージング

通学学舎とは

【趣旨】

家族と離れ普段とは違う異年齢との共同生活の中で、「思いやること」「助け合うこと」「がまんすること」などを学ぶ。

【ねらい】

- 子どもにとって...
 - 「思いやること」「助け合うこと」「がまんすること」の体験の場
 - 基礎基本の定着を図る
 - 勤労・協同の大切さを知る
 - 自主性・協調性・責任感や自尊感情の熟成
- 保護者にとって...
 - 子離れの体験を通じて、家庭教育を見直すきっかけにする
- 地域（活動を支える大人）にとって...
 - 地域の大人と子どもとの触れ合いを通じて、地域コミュニティーの再構築を図る
 - 地域住民の能力活用の場にすることで、地域の教育力向上や絆の強化に資する
 - 地域を挙げて子どもを育てようとする機運を高める



8月31日(日)から9月3日(水)の4日間、リーダー養成通学学舎実行委員会主催の通学学舎がありました。小学4年生から6年生の希望者30名が参加して、トレーニングセンターに宿泊し、家族から離れて普段とは違う異年齢との共同生活を送りながら、地域の方々の交流なども体験しました。

通学学舎

9月1日(月)、子ども会育成会主催によるチャレンジ広場が鷹の窪自然公園で行われました。例年好評のこの企画には、1年生から6年生までの92名の参加がありました。自然の中で体を使った遊びを子どもたちに体験してもらうことを目的とし、体験活動の内容はジュニアリーダーを中心に何度も作戦会議を重ねて準備をしてきました。当日は朝からどんよりとした曇り空で、飯ごう炊飯隊とおかず作り隊が作ったシチューとポテトサラダ、フルーツポンチができあがり、食べ始めたころから雨が降り始め、予定より早めの解散となりました。

チャレンジ広場



8月30日(土)、松本短期大学の柳澤秋孝先生を講師に、15組の親子が参加し、わんぱくキッズサロンが今年はじめで開催されました。家庭でできる親子体操を通じて、親子でふれあい、子どもの心と体について考えるきっかけづくりを目的に、初回のこの日は保護者向けに、「楽しく育む心とからだ」8歳までにして欲しいこと・親の役割」と題した講演と家庭でできる親子体操の実践が行われました。

また、9月27日(土)には、年中・年長向けの家庭でできる親子体操と年少向けの親子体操が時間をずらして計画されています。子どもの成長には、忙しい日々の生活の中で、少しでも子どもとふれあい、一緒に過ごす時間を作ることが大切です。まずは、体操から始めてみませんか。

わんぱくキッズサロン



村での開店に 感謝しています

はなわ 梶 ^{かず} 和 ^き 貴 ^{みさお} さん
操 ^{さん} さん
(上竹田)



絆

KIZUNA

「木鶏」を開店してから半年近くが経つ。ここまでにごぎ着けたのも多くの方々との出会い巡り会い繋がって来られたから」と梶夫妻はいう。

福島出身の和貴さんがそば打ち修行を始めたのは21歳の時。その後、信州そばも味わってみたいと訪れた松本に魅力を感じた。ここで知り合った人の縁でそば屋の仕事も見つかり、操さんとも出会うことになる。二人は車のワーゲン仲間の会で知り合い、数か月で結婚を意識したという。「とても馬が合った」という和貴さんに対し、操さんは「両親や兄弟を深く愛していることが分かるにつれ、この人なら」と感じた。「今は三人の子どもにも恵まれ、環境のよいこの地で子育てできることに感謝している。また、夜の営業も始めたので村の方で働いてくれる方がいれば」と話す。

実家のある福島を応援し、県内に避難して来ている福島県人と寄り添い、村内の人とも繋がっていききたいと思っている夫妻。お客様との会話を大事にしたいという想いからオープンキッチンにした店内で、自慢のそばと二人の笑顔が待っている。

上竹田の県道沿いにそば処「木鶏」を開店してから半年近くが経つ。ここまでにごぎ着けたのも多くの方々との出会い巡り会い繋がって来られたから」と梶夫妻はいう。

福島出身の和貴さんがそば打ち修行を始めたのは21歳の時。その後、信州そばも味わってみたいと訪れた松本に魅力を感じた。ここで知り合った人の縁でそば屋の仕事も見つかり、操さんとも出会うことになる。二人は車のワーゲン仲間の会で知り合い、数か月で結婚を意識したという。「とても馬が合った」という和貴さんに対し、操さんは「両親や兄弟を深く愛していることが分かるにつれ、この人なら」と感じた。「今は三人の子どもにも恵まれ、環境のよいこの地で子育てできることに感謝している。また、夜の営業も始めたので村の方で働いてくれる方がいれば」と話す。

実家のある福島を応援し、県内に避難して来ている福島県人と寄り添い、村内の人とも繋がっていききたいと思っている夫妻。お客様との会話を大事にしたいという想いからオープンキッチンにした店内で、自慢のそばと二人の笑顔が待っている。

小野 華恵 ^{はな え} さん

上竹田
ふたご座

春と夢

須ヶ原 俊太 ^{す が はら} さん

下竹田
しし座

お父さんを
追いかけて



大学生活を
満喫中



松代にある長野県農業大学校で野菜の栽培を主体に学んでいる。この道に進もうと思ったのは高校生の時で、その動機は農業に励む父親の後姿を見てきて「かっこいい!」と感じたから。

ダンス、水泳、バレーボール、卓球、バドミントン、サッカーと多種のスポーツに親しんできた華恵さん。興味を持つとやってみようと挑戦し、そしてどれも楽しいという。

来春卒業したら今の勉強を活かし、また家の経営向上にも貢献できるように農業の仕事を手伝いたいと思っている。

信大の繊維学部で、化学材料の分野での様々な実験研究をしながら勉強中。小学校の頃からサッカー、中学ではバスケットボール、高校はバドミントンとスポーツを経験し、今もサークルで体を動かす。

趣味の映画鑑賞は一人でも映画館へ行ったり、部屋でDVDを観たり。アクション系の洋画から物語性重視の邦画まで幅広い。最近では友だちと居酒屋巡りをし、美味しいお店を探すのも楽しいそうだ。バイトも含めた経験が、将来どんな化学変化を起こすのか楽しみな俊太さんだ。